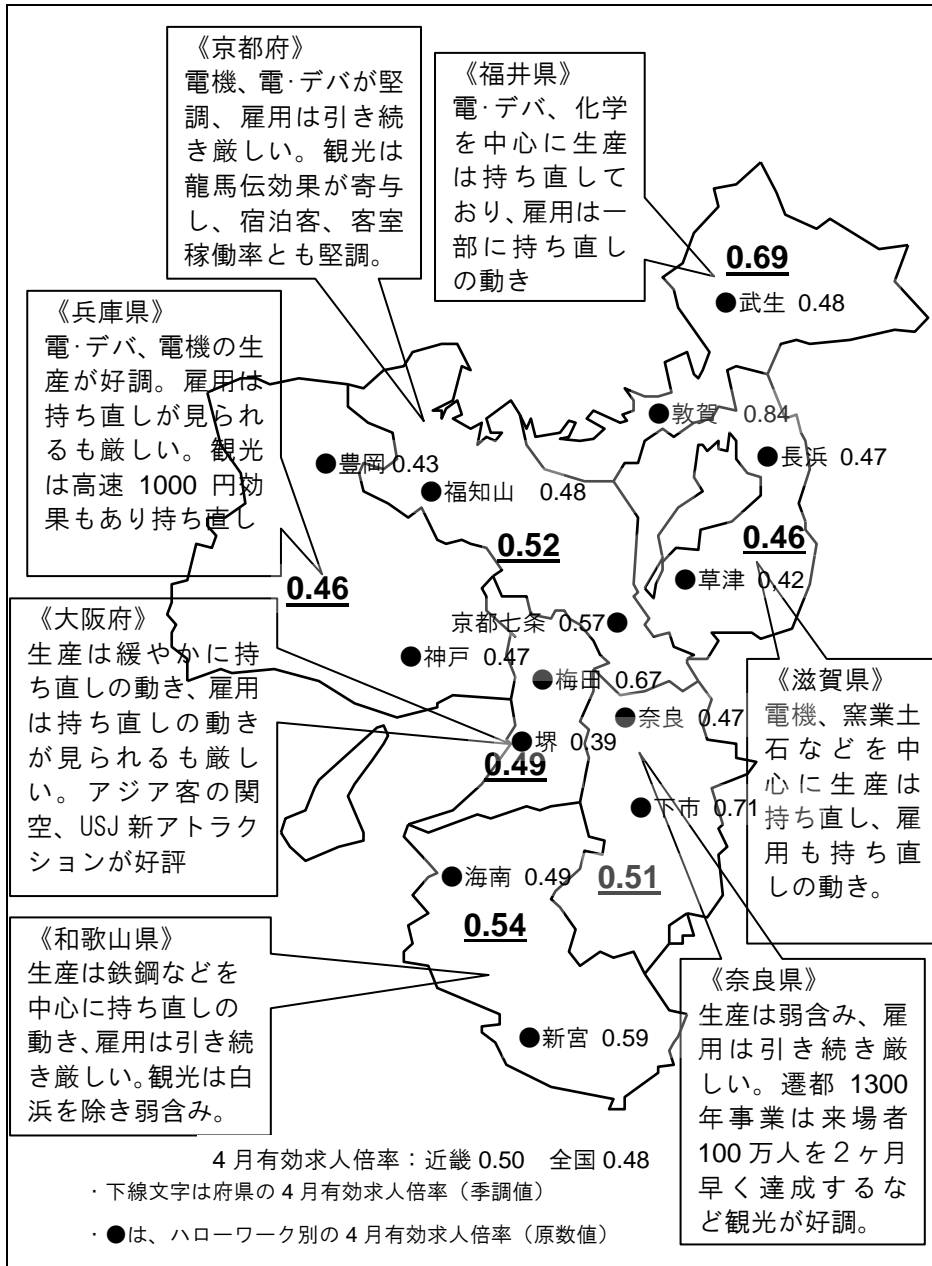


近畿経済産業局管内の経済動向

資料 1



近畿地域の経済は緩やかに持ち直している。

1. 全体の動向

アジアの旺盛な需要から輸出及び生産は、電子部品・デバイス、鉄鋼、化学等を中心に持ち直し、個人消費は経済対策で持ち直しの動き、雇用は持ち直しの兆し、設備投資は下げ止まりへの動きなど、緩やかに持ち直している。

2. 個別の動向

(1)生産 ～持ち直し～

アジア向け輸出や経済対策の効果により、電子部品・デバイス、鉄鋼、化学等を中心に一部はフル生産するなど引き続き持ち直し。なお、自動車の政策効果剥落を懸念する声がみられた。

(2)設備投資 ～下げ止まりに向けた動き～

コスト削減や新興国需要から企業収益が回復し、鉄鋼、化学、生産用機械器具等あらゆる業種で海外拠点の拡充が活発化している。また、国内も過剰感の高いものの、下げ止まりに向けた動きがみられるなど底堅い。

(3)雇用情勢～持ち直しの兆しがみられるものの、依然厳しい状況～

求人倍率には持ち直しの兆しがみられるが、完全失業率は依然高水準。新卒採用を抑制し中途採用を継続するとの声あり。なお、雇用調整助成金等の届出件数は大企業でやや減少傾向にあり、一部企業では残業時間が増加。

(4)個人消費 ～持ち直しの動き～

雇用・所得環境が厳しい中、価格競争や単価下落が続き、大型小売店の販売額は低迷しているが、観光が持ち直しの動き、経済対策により薄型テレビや自動車等が増加しているなど、総じて持ち直しの動き。

3. 地域経済のトピックス

○年内は業況拡大を予想する向きが多いが、リーマンショック前の水準には戻らず、海外勢との価格競争や鉄鉱石等の資源高騰、EU 財政危機を心配する声強い。

○家電及び住宅版エコポイントは好評とする声大きい。また、平城遷都 1300 年記念事業や龍馬伝効果により奈良・京都・神戸の観光が好調。